

「アクティブラーニングで学ぶ Javaプログラミングの基礎1」正誤表

頁	行・図	誤	正
65	プログラム6-8 (タイトル部分)	if文の例	switch文の例
67	プログラム6-9 (タイトル部分)	if文の例	switch文の例
68	プログラム6-10 (タイトル部分)	if文の例	switch文の例
88	図7.3	<pre> graph TD A[初期化] --> B[文] B --> C{継続条件} C -- 真(true) --> B C -- 偽(false) --> D[終了] E[状態更新] --> B </pre>	<pre> graph TD A[初期化] --> B[文] B --> C[状態更新] C --> D{継続条件} D -- 真(true) --> B D -- 偽(false) --> E[終了] </pre>

※ 以下については、コードとして誤りではない(コンパイルエラーとはならない)が、Javaにおけるメソッドや変数の命名ルール(メソッド名は動詞とする、2単語以上のは空白を詰め2単語目以降の先頭を大文字とする等)に従い、以下のように訂正する。

頁	行・図	誤	正
113	アクティブラーニング9.1 1行目	addOne()	writeSumOfOneAndOne()
115	アクティブラーニング9.2 1行目	Twice()	writeDoubleValue()
116	アクティブラーニング9.3 1行目 ※ p.115 アクティブラーニング9.5 1行目 p.124 アクティブラーニング9.9 1行目 も	Introduction()	introduce()
117	プログラム9-8中、プログラム9-8 以降の本文 ※ p.119 プログラム9-11中 p.123 プログラム9-15中 プログラム9-15以降の本文 も	price_adult price_child price_usd p_a p_c	priceAdult priceChild priceUsd pA pC
128	演習問題9.3(2) 中	calsTax()	calcTax()